



真理探求

甲州市立勝沼中学校
2024年 3月25日発行
第14号
文責 校長 三枝敏明

校訓「真理探求」

全校生徒数:231人 (1年:68人 2年:82人 3年:81人)

学校教育目標 「たくましく心豊かで実践力のある生徒の育成」

甲州市学校教育 基本理念 「人・自然・ふるさとを愛する甲州教育」

梅村武史さん講演会(3年生)

2月16日(金)に「アチーブスジャパン株式会社」代表取締役である梅村武史様を講師として、卒業する3年生へ「みんなで最高の未来をツムグ(紡ぐ)～社会を生きる一員として当事者意識を持ち自立するために～」と題して講演していただきました。遊びを活用した活動を通して「協力し合い、達成することの楽しさ」を実感した時間でもありました。

世界農業遺産学習会(1年生)

2月16日(金)に「峡東地域世界農業遺産推進協議会」アドバイザーの中村正樹様を講師として「世界農業遺産学習会」を行いました。伝統的な果樹栽培のみが認定されたのではなく、それに関わって育まれた地場産業・風土や文化(お祭り)・景観・動植物の保全、そして小中学校で続けている体験活動等を含めたものすべてが世界農業遺産であることを知ることができました。

【1年A組 姫野なのは さんの感想より一部抜粋】

世界遺産と世界農業遺産との違いも知ることができた。世界遺産は現状を変えないのが基本、逆に世界農業遺産は状況に合わせて変化したり選択するというの面白いなと思った。近代的な技術を取り入れながらも大切に伝統的なものを残していくというのがいいなと思った。

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

お忙しい中、学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

「Ⅰ学校教育目標に関わること」「Ⅱ確かな学力育成」「Ⅲ道徳性・社会性・健やかな体の育成」「Ⅳ生徒理解・信頼される学校づくり」「Ⅴ学校評価に関わること」に対しての14項目に回答していただきました。(評価 A:3.4~4.0 B:2.8~3.3 C:1.0~2.7)

保護者の方の調査項目4「学校は、日常の活動や道徳の授業を通して、人として集団生活(社会生活)に必要なことの育成に努力していると感じる」では、「B:3.3」の評価となりました。思いやりの心、生命尊重、コミュニケーション能力の育成、いじめ防止、人と協働する姿勢、基本的な生活習慣などに関わる部分です。子どもたちが安心して過ごし、自己肯定感や有用感を育むために、最も大事にしなければならないことであり、道徳の授業だけでなく、一人ひとりに目を向けた指導をきめ細かく行っていきたいと考えています。

また、「交通安全への対策」、「日頃の教育活動」に関して、肯定的なご意見・ご理解を多数いただき感謝しております。「分かりやすい授業」「生徒対応」「部活指導」「個に応じた指導」「PTA活動」等については改善へ向けたご意見をいただいています。お寄せいただいたご意見を貴重なものとして受け止め、全職員で確認を行い、今後の教育活動の見直しにつなげていきたいと考えています。今後ともご理解ご協力のほどよろしく願います。

令和5年度卒業証書授与式

3月11日(月)、早春の晴天に恵まれ、令和5年度勝沼中学校第73回卒業証書授与式を挙行しました。卒業生の皆さんが手にした卒業証書には、仲間とともに過ごした様々な思いが刻み込まれており、かけがえのない三年間の重みを感じたことだと思います。

送辞では在校生を代表して生徒会副会長の村松昂依さんから卒業生との思い出や感謝の言葉が伝えられました。答辞では生徒会長の相川優芽さんから三年間の思い出や感謝のメッセージが伝えられるとともに新たなステージへ向けての決意が告げられました。その後、卒業生の思いが込められた、合唱曲「群青」が体育館に響き渡りました。

卒業生の皆さん、新しい世界に向かっての旅立ちです。「自分の力を信じ、プラス思考で取り組むこと」と「甲州市への愛着と誇り」を大切に、夢に向かって飛び立ってください。皆さんの前途に幸多かれと祈っています。

3年生の保護者の皆様、お子様の御卒業、おめでとうございます。三年間のご支援・ご協力に敬意と感謝を申し上げますとともに、心からお祝い申し上げます。

【答辞 卒業生代表 相川優芽 (一部抜粋)】

お父さん、お母さん。育ててくれてありがとう。愛してくれてありがとう。いっぱいわがまま言って、反抗もして、でも素直にごめんなさいと言えなくて、たくさん苦勞をかけました。少しは大人になったと思うけど、まだまだ甘えさせて下さい。これからもよろしくお願いします。

人が生きるために大切なこと、それは「人は決して一人では生きていけない」ということです。この三年間の中学校生活が私たちにそれを教えてくれました。三年生の仲間たち、今、隣りにいる人を見て下さい。どんなに時が流れても、私たちは友達です。どうか、そのままの君でいてください。そしていつかどこかで会ったその時は、心の底から笑い合いましょう。

私たちの門出を、こんなにも立派ににお祝いして下さった皆様、本当にありがとうございました。私たちは、皆様からの教を胸に、夢と希望と勇気を持って、自らの道を進んでいきます。

結びに、勝沼中学校のさらなる発展と、皆様のご多幸をお祈りし答辞とさせていただきます。